

第一分科會（文化全般）

〔部長〕宮内 孝 〔副〕安康兼慶

友田靜惠

第二分科會（制度組織）第一部會（幼稚園）

〔部長〕鈴木信政 〔副〕鳥井暢起

狩野みつ

第二部會（保育園）

〔部長〕齋藤久吉 〔副〕小坂文雄

江口まさ

各部會共活潑な情景が展開されて、午前中で終了した。この間各府縣から新規約による委員が選出されて、常任委員會を開催する。

常任委員中から委員長と副委員長を選び

〔委員長〕小川正通

〔副委員長〕鈴木信政 秋田美子

と決定した。

尙、事務局は東京都に設置することになつて事務局長は小川正通と決定した。

x

午後一時から大會と總會が開かれ、大會議長に秋吉豊喜、副議長に田中新次郎、岡田しげのがついて、大會議案について審議した。

1 保育者のアメリカ派遣と内地留學實施の件（關西地區奈良）一同賛成可決

2 全國保育大會を隔年に開催するの件（關西京都）は高折提案説明者の努力があつた

が、當分一年説に賛成が多く、毎年開催となる。

3 幼稚園教諭と保育所保育母の資格を共通する事件（關東、東京、關西三重）は一同賛成要望切なるものあり、新事務局に於て善處方を一任して可決

續いて各委員會の報告あり全部承認した。

x

午後三時より閉會式に移る。岡田榮資九保連事務局長の式辭に、福岡縣知事、福岡市長の挨拶あり、

續いて、各部會の報告あり、宣言決議文の承認を終り、總會の總意に於て前會長倉橋惣三先生の顧問推舉を萬場一致承認した。

參會者代表として、福岡若松幼稚園の玉川

園長が卒直で熱のこもつた謝辭に老市長が登壇して握手をする云う様な劇的なシーンを現わして、感激的氣分の裡に、保育歌は靜かに流れ、青柳義智代事務局次長の閉會の辭に第四回保育大會は無事に幕を閉ぢた。

x

第四回保育大會は、二千名以上の参加を得て豫想以上の盛會を以て終つた。

本大會のよろこびを更にたのしいレクリエーションの見學が左の三班に分れて行れた。

A班 雲仙（長崎縣國立公園）

B班 阿蘇（熊本縣國立公園）

C班 別府（大分縣觀光溫泉郷）

本大會の實際の運営に當られた、九州の各保育界の人たち、開催市の方々、特に大會準備委員の諸賢に對し心からお禮を申し上げる

保育時報第八號にも書いたが、料理をたべて、まづいとか、からいとか、いくらも批評は出来るが、御馳走を作るまでには文字通り走り廻り駆け廻らなければならない。

全く御苦勞様である。料理人はあせをながして料理を作つて、人にたべさせて、自分はいたべる間もないのである。お膳立てをしていただいた方々に重ねて満腹の感謝と敬意とを捧げる。

大會準備を顧みて

九州保連事務局長

岡田榮資

大會が済んでホットする間もなく残務整理で毎日多忙を極めている。大會開催當日までの準備の経過のうちから今後の大會についで多少とも参考になるだらうと又参考にして頂きたいことを私の想出の記から摘記してみよう。

九保連を結成受入態勢の準備え

昭和二十三年の冬、大野柔忍先生（當時福岡縣保育協會の副會長）の來訪をうけ第一回全國保育大會の模様を詳細に承り、既に第二回大會を九州でという希望の多いこと等を傳えられ、一夜を協議に明したことがあつた。之が私の大會にタッチした最初であつた。それから大野先生が福岡縣保連の會長に就任（私は副會長留任）を機として、大會受入態勢を整えるため、先づ九州保育連合會の結成の準備に着手、同年五月末これが結成式を福岡で挙げ、九月の別府會議で機構を整備し、十二月の會議の決定に基き第一回の九州保育大會を二十四年三月末鹿児島で開催「全國保育大會を九州でとの全國的要望のあつた場合は何うするか」を大會議案とし満場一致で「心よく引受ける」を決議し、かくて昨年七月の新潟大會では九州ブロックはこの決議に従い大會の要望に應えて快よくお引受けしたのである。

九州引受決定から準備會の結成え

昨年の大會で豫想通り「九州」と決定したので、私は九保連事務局長の責任上、二泊三日の佐渡觀光も一日で切上げ、新潟の縣、市兩當局を訪ずれ、諸般の調査研究を行い、東京に廻り文部、厚生兩省の保官の意見も求めた。歸朝後八月半ばから九州各地（颶風で鹿児島中止）を巡訪し、縣市、保育會等の要路を訪ね、或は座談會等を開き「大會についての意見」を全くの白紙で伺つて廻り、歸途大野會長に委細復命、之に基き慎重原案を作成、九月十二日に大會に關する初の九保連の會議を福岡で開き、趣旨誓の文言から開催期日、期間開催地等につき、實に午前三時まで熱心に検討して要綱案を決定、神戸の常任理事會名古屋での代議員會等の議を経て確定されたが、かくて十月三日大宰府に於て「第四回全國保育大會準備會」の發會式を舉行したのであつた。

大會準備は九月一日から着手し二十五年八月末まで残務整理も終了することとし、第一期 九月—十二月 大會開催要綱をプロジェクトで原案を練り全保連の諸機關（常任理事會、代議員會）の議を経て決定、九州ブロックに周知徹底をはかる。

第二期 一月—五月 事務局の事務を分擔し

本格的準備に着手。

第三期 五月—八月 全國的に呼びかけ、最後の努力を行い八月—パイは残務整理にあてる。

こんな企劃でいたが、大體この通り實施出來た。八月末で準備會は解散するが、會誌の編纂は「會誌編纂會」に引繼がれる。

一つの進歩でも—との念願一つは實現毎年のだ大會で多少の進歩を實現させたいと考え、今年のだ大會では大會議案と協議題は少くとも大會は一月以前に之を發表したいとの考で時には強引と言われながらすゝめたが幸に五月末とは「九州保育新聞」に掲載「幼児の教育」にも掲げて貰つたので充分研究して出席出來たことは確かに一つの進歩であつたと思う。

申込の締切を厳守したいとハリキッテ居たが、期限締切勵行は誰でも「原則として」賛成するが、今年も矢張り惣々たる當日申込が多く受付を困惑させた。圓遊會や觀光旅行には當日無断で参加した方等もあつて、手薄な準備陣をいよ／＼混亂させられた。土産物や要録類もギリ／＼迄引延ばさねばならず、準備會當局を悩ました。今後は是非何日か以前に完全に締切の方法をとられたいと思う。準備費の捻出に一足勢、業者に感謝

一番頭を悩ましたのは準備費用の捻出であつたがこれには左の二つの方法をとつた。

一、準備會を會員制度にして、先づ九州ブロック内の保育關係者（園長、保母等）に呼びかけ、期限を定めて會費の前納をして貰ひ、相當の特典をつける。

二、業者も特別扱をせず、共に手を携えて行くことにし會費を贊助（一口一萬圓）特別（一口千圓）と普通（一口二百圓）の三口とし大口には分納納入の相談をした。

一、も二も相當成功した。大分熊本長崎の各縣は殊に協力して呉れた。この會費前納制度で、借入金等もしないで何うやら準備が出来たことは協力の賜と感謝に堪えない。

廣報、周知に腐心、實施した方法
大會開催要綱の通知の方法には相當の腐心をしたが結局左の七つの方法を實施した。

1 九州保育新聞の配布

2 縣民生部長から各地の民生部長宛（保育所關係）

3 縣教育長から各地の教育長宛（幼稚園關係）

4 各縣保育團體長宛

5 全保連全國常任理事宛

6 各市長、大學長、校長宛（國公立施設關係）

7 各地の諸會合で宣傳

凡て振替用紙——専用口座を印刷した拂込料金加入者負擔のもの——を同封して送金上の便宜を考慮した振替用紙の同封は歓迎され實効もあつた。

後で聞いたが多數の不着のあつたこと、並に府縣當局によつてはトテモ熱心に下部通達の努力を拂つてくれたところと默殺のやうな態度をとられたところがあつたらしい。

全國各施設に直接漏れなく出したいと思つたが、ある事情で實行できなかったことは遺憾であつた。又、九州保育新聞の一〇〇ページント活用を熱望したが一部の狹量者の誤解と無理解の爲に思うように實行できなかったことは返す／＼も残念であつた。

大會の持ち方についての提案
いろ／＼書きたいこともあるが大會誌に譲るとしてこの際最後に大會の持ち方にとつて卒直な意見を提案したいと思う。

一、大會は全保連の主催としなくて開催地元（府縣、市等）との共催とするか、或は、地元の主催にすること、助成金等の關係が非常にむづかしい。

二、参加申込は當日は一切受付けないうことにする。準備の萬全を期し、當日の混雜がふせけるばかりでなく眞面目な會がもてる。

三、これは非協力的な日寄見の人々に對して最もよい決意促進の方法である。

四、全保連の會員と非會員との區別をつけて参加費に差別をつける。會員でも非會員でも同様の待遇であることは何う考えても納得出来ない。

五、講習會等は當日申込も悪くはないが、この場合は二重受付をつくり、第一受付で會費を納入し、第二受付（會場入口）で受講票（三日の場合はミシンで三枚にする）をとる方法にする。混雜と群衆心理でロハで受講したもののが少くない、その氣持も制度も改善したいものである。

次にお願いが一つ、大會参加者には要録を御渡したが末尾の参加票を送つて頂き度い。大會参加者芳名錄を大會誌につけたいの（一人も漏れなく願ひたい）。

大會誌は有料（一冊送料共二百圓）で前金注文者だけに發送し贈呈制はとりませんから御入要の方は至急申込んで頂きたい。

（申込先は福岡市町外二日市財團法人九州保育研究所、振替口座福岡四三、三四〇番）

終に準備不行届きの爲参加者各位にいろ／＼御迷惑をおかけしたことが多かつたと思ひ、衷心からお詫び致します。